

## 留学生帰国

昨年3月末から、本校に留学していたアローン・セペダ（メキシコ）君が、3学期始業式で帰国の挨拶をしました。



生徒会からは、記念品として、漢字で刻印された印鑑とケースが贈られました。

日本語は、通常の会話とは理解できるところまで上達し、部活動のブラスバンド部でも、ドラムス担当として、しっかりピートを刻めるようになり、野球の応援でも大活躍してくれました。

また、中学生対象のオープンスクールでは、英語と日本語で挨拶するな

ど、その他いろいろな行事にも積極的に参加してくれ、大いに盛り上げてくれました。

何ととっても、ネイティブイングリッシュで生徒たちと話をすることによって、多くの生徒の英語力向上に寄与してくれたことが、一番嬉しいことでした。

最後に、笑顔で今年の夏休みには、家族と一緒に、神港学園に遊びに来ますと言ってくれました。

### 「ノス・ベモス」

スペイン語で「また会いましょう」の意味です。

次の留学生は、3月末にオーストラリアから10ヶ月間の予定で、来校することになっていきます。

## 避難訓練と講話

12月19日（月）に火災発生を想定した避難訓練が実施されました。

緊急放送後、全校生徒が静かに、かつスムーズに北グラウンドに移動し、整列

点呼が行われました。指導においていただいた、消防署員からは、昨年度より「かなり良くなった」とお褒めの言葉と、さりげなく「お褒めの言葉と、さりげなく」

も参加をしてくれ、大いに盛り上がりました。講演後の質問も活発に出て、有意義な講演会となりました。

避難訓練終了後に、2・3年生は体育館に入り、自衛隊兵庫地方協力本部の六車昌晃1等陸佐本部長より、「体験的防災論と自衛隊勤務から得たもの」と題して、講演していただきました。



その後、自衛隊入隊が決定している生徒と、夏のインターンシップでお世話になった者との質疑応答

同時進行で1年生が中庭で、大災害発生時に派遣される82式指揮通信車など、色々な装備を見せていただき、鉄パイプの裁断機や、コンクリートの破砕機、その他災害時に活躍する機械類も操作させていただきました。



の機会が設けられました。また、そこに卒業生の隊員



**ちょっと一言** 脳神経外科医の林成之氏が著書で、「脳神経細胞のもつ本能は、『生きたい』『知りたいたい』『仲間になりたい』の3つである。その『仲間になりたい』という本能は、誰かが喜んでくれれば嬉しくて、人のためになったとき、貢献したい心が満たされ、それを自分にとっての報酬であると捉えるようにできている」と書いていました。「自分は友人が少ない」と思っている人は、「相手の立場に立つ力」が身についているかを考えてみましょう。そして、嬉しさを表し、思い切り褒める。これで相手の「仲間になりたい」という本能に働きかけることができれば、きっとよい結果が生まれます。